

「あたり前」の違い

水は私たちの生活にかかせないものだ。これはだれもが知っていて、あたり前のことですね。私自身もそう思っています。では、そんなにも私たちにとって大切な水を本当に大切にしているのでしょうか。

私たちの住む地域では冬の寒い時期、水道破れつを防ぐために一日じゅう水を出し続けている家が多いです。ですが、町ではそうではないそうです。今年の冬、私のいとこが泊まりがけで家に遊びに来ました。例年どおり遊んだり、一緒に宿題をしたりと、楽しくいとこと過ごしていたのですが、ある時、水道を見ていところが「どうして水が出しっぱなしなの。もったいないよ。」と言ったのでとてもびっくりしました。私はこれまで冬は水を出しっぱなしにすることがあたり前という生活を送ってきました。そんな

山添村立山添中学校 三年

馬籠 結衣

な私にとつて、このいとこのなにげない言葉はとても衝撃的だったのです。言われてみればたしかにもつたいたくないような気がします。ですが、言われなければ気づかないようなこととです。私自身も水を出し続けていることを疑問に思い、家族に尋ねてみたことはあります。ですが、それは「なぜ」という思いがあったからです。決して「もつたいたくない」という思いはその時でも、少しも感じなかったのです。どうしてこうも町と村では水のとらえ方が違うのでしょうか。

私たちの住む山添村はとても自然豊かな所です。山からはきれいな水がわき出てくる、家の近くに川が流れているのがあたり前なのです。こんな村で「節水」なんてうったえてもあまり効果はないでしょう。なぜなら、水なんてあつてあたり前、どれだけ使っていてもまだまだあるんだから大丈夫つという考え

方がこの村にいと生まれてくるからです。だから皆、世の中のことなんて深く考えずに水をたくさん使うのです。たくさんあるから使ったって問題はない。むしろ、たくさん使った方が良いというのが村でのあたり前なのです。

では町ならどうでしょう。水がわきでる山も、流れる川も村と比べると少なく、使える水の量も限られています。そんな中で水を出しっぱなしにしていると、まちがいなく怒られてしまうでしょう。もったいないからしっかりと水を止めなさい。使いすぎるとだめっというのが町でのあたり前なのです。

この二つの地域の「あたり前」の違いがあるからこそ、さきほどの水の出しっぱなしでの考え方にも違いがでてくるのではないでしょう。

では私たちはこれから何をどうしていったら良いのでしょうか。私はまずはおたがいのことを知ることから始めるべきだと思います。山添村ではダムの見学会を行ったり、ダムの周りを走る布目ダムマラソンなど、さまざまに取り組みがなされています。ダムの見学会

ではダムの中を見せてもらったり、ダムの水にすむ微生物を観察したりすることができま。布目ダムマラソンでは、毎年多くの人が参加します。なかには県外から参加する人もいます。こうした取り組みはとてすばらしいことだと思います。もっとその取り組みを広げていけば、もっとたくさんの人が山添村を知り、水を知ることができると思います。「あたり前」の違いを知ること、水に対する考え方も変わっていくのではないでしょう。